

保存版



錦江町

ハザード マップ



錦江町WEB版ハザードマップを見る

右のQRコードから錦江町
WEB版ハザードマップをご覧ください。
(PC、スマートフォン等)



令和5年4月発行

町民の皆様へ

国内では東日本大震災や熊本地震、地球温暖化の影響を受け、年々激しくなる大雨や台風など、大規模な自然災害による被害が多発しています。

本町は地震による災害に限らず台風、豪雨等による急傾斜地、土砂災害危険個所での自然災害の発生などによる潜在的危険を非常に多く有しております。

防災の基本は、日常から災害に備えることや早めの避難などを行う「自助」、地域で協力して助け合う「共助」、行政や消防、警察等による「公助」がありますが、大規模災害発生時には、まずは、「自助」「共助」の力が何より重要です。

今回作成しました「錦江町ハザードマップ」は、町内各所の土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び津波浸水想定区域の他に、防災に関する多くの情報を掲載しています。

ご家族、ご近所での防災活動等にご活用していただくとともに、安心・安全な錦江町を築くための一助となりますよう、日頃からの「心の備え」としてお役立ていただきますようお願いいたします。



令和5年4月 錦江町長 新田敏郎

索引

町民の皆様へ	地震	7
ご挨拶・目次・奥付……………巻頭	津波	8・9
防災気象情報……………1	防災対策&チェック……………10・11	
警戒レベルを用いた避難情報……………2	非常時持ち出し品の準備&チェック……………12・13	
マイタイムライン……………3	避難行動ガイド……………14	
風水害・台風……………4	避難所生活の心得……………15	
土砂災害……………5	指定避難所・指定緊急避難場所一覧……………16	
洪水・浸水害……………6	防災に関する知識……………裏表紙	

錦江町ハザードマップ 令和5年4月発行

発行 錦江町 総務課
肝属郡錦江町城元963番地
TEL 0994-22-0511

制作・著作 株式会社ゼンリン 鹿児島営業所
鹿児島市中町11番4号 熊谷ビル3F
TEL 099-223-0740
©2023 ZENRIN CO.,LTD.

無断で複写、転載することをご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは著作権法により禁止されています。
JIS Z 8210 広域避難場所、避難所(建物)、洪水/内水氾濫、土石流、津波/高潮、崖崩れ・地滑り、大規模な火事

【お断り】
本文中の地図は弊社地図データを元に作成しております。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報収集も加えて制作しております。作成には細心の注意を払い編集作業を行っておりますが、データ量は膨大であり日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また目標物名称等は見易さを優先し正式名称などを一部割愛して表現しております。何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。



防災気象情報

土砂災害の種類

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

◆特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

◆地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

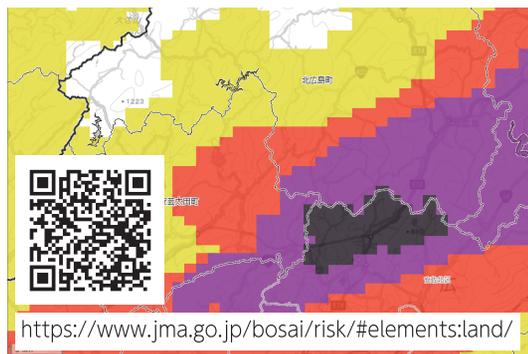
特別警報が発表されたら

- ❗ 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ❗ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ❗ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

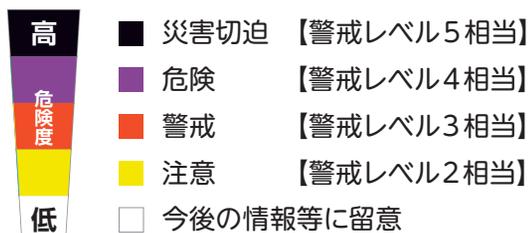
キキクル(危険度分布)

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

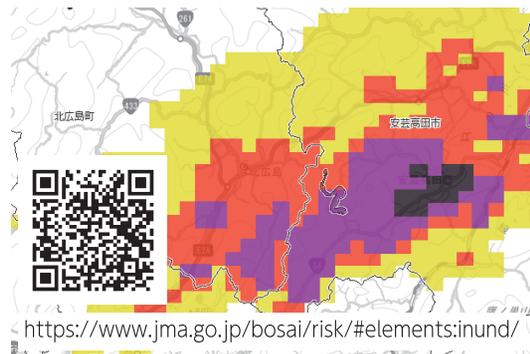
土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布



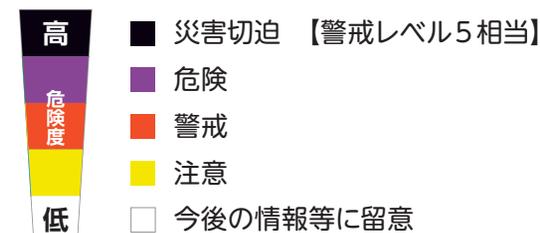
紫：崖・溪流の近くは危険



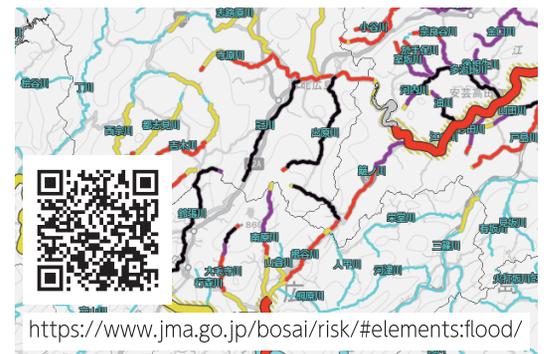
浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布



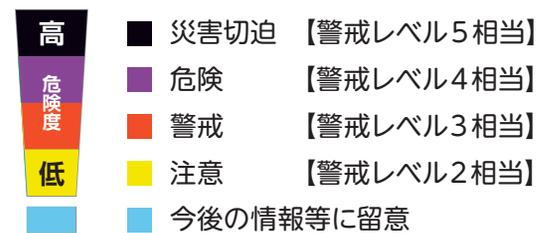
紫：低地は危険



洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元バーコードの読み取りができない場合があります。(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

警戒レベルについて

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、警戒レベル1～2は気象庁が、警戒レベル3～5は市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

※警戒レベル5は必ずしも発表される情報ではありません。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発表される情報であり、必ず発表される情報ではありません。	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発表される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4 相当	氾濫危険情報 土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水 注意報	2 相当	氾濫注意情報 ———
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当	——— ———

※ 市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発表判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発表されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発表が間に合わないこともあります。

避難指示等が発表されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。

大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発表されるものではありません。**

危険な場所にいる人は  
**警戒レベル3 高齢者等避難**や  
**警戒レベル4 避難指示**で、  
 地域の皆さんで声をかけあって、  
**安全・確実に避難しましょう。**



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)



# マイタイムライン

マイ・タイムラインとは、災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画です。台風の接近などによって河川の水位が上昇した場合などに、住民一人ひとりがとる防災行動を時系列に整理し、あらかじめ取りまとめることで、急な判断が迫られる災害時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立てることができます。

時間	3日前	1~2日前	半日前	5時間前	3時間前	0時間
状況	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い		災害発生 又は切迫
警戒レベル	1	2	3	4		5
避難情報等	早期注意情報	大雨・洪水注意報	高齢者等避難	避難指示		緊急安全確保
警報等	警戒レベル1相当	警戒レベル2相当	警戒レベル3相当	警戒レベル4相当		警戒レベル5相当
大雨・土砂災害	—	—	大雨警報 (土砂災害)	土砂災害警戒情報		大雨特別警報
河川の氾濫	—	氾濫注意情報	氾濫警戒情報 洪水警報	氾濫危険情報		氾濫発生情報
住民がとるべき行動	<b>災害への心構えを高める</b> ○テレビやインターネット等で気象情報等を確認 ○防災ハザードマップで避難所・避難手段を確認 ○家族全員の今後の予定を確認 ○防災グッズの確認不足があれば買い出し ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされそうなものがないか確認	<b>自らの避難行動を確認</b> ○防災ハザードマップで避難所・避難手段の再確認 ○万が一に備え、親戚・知人へ避難の受入れの相談 ○携帯電話の充電 ○テレビ (dボタン) やインターネットで気象情報・通行止め情報を確認 ○気象庁のホームページで「キキクル」を調べる	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ○移動に時間のかかる人は町内の指定避難所等への避難を開始 ○テレビ (dボタン) やインターネットで気象情報・通行止め情報を再確認 ○気象庁のホームページで「キキクル」を確認	<b>危険な場所から全員避難</b> ○町内の指定避難所への避難を完了 ○自宅が安全な人は自宅に留まる		<b>命の危険 直ちに安全確保</b>
	<b>わが家の行動</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> _____ _____ _____ _____ _____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> _____ _____ _____ _____ _____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> _____ _____ _____ _____ _____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> _____ _____ _____ _____ _____	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> _____ _____ _____ _____ _____	
記入例	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族内で予め備蓄品を購入</li> <li>非常持ち出し品のチェック</li> <li>家族全員の集合場所を決め安全な避難ルートを策定</li> <li>車にガソリンを入れておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報を把握し避難を行うかの判断</li> <li>風水害に備え家の施錠や窓に養生テープを貼る</li> <li>自家用車等の対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難を開始</li> <li>安全なルートで避難所等へ移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所内では持ってきた食料品で過ごす</li> <li>避難が完了した場合は家族に連絡する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の状況を家族や親戚等に連絡</li> </ul>	

警戒レベル4までに必ず避難

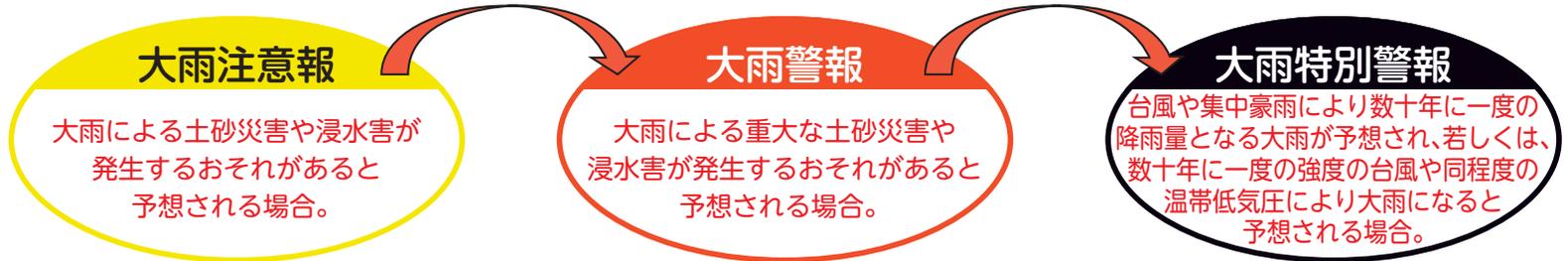


# 風水害・台風

大雨や台風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなが協力しましょう。

## 大雨情報をキャッチ! こんな時のわが家の安全対策

### 大雨注意報・警報・特別警報の発表基準



特別警報は大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。

#### 非常事態

#### 特別警報が発表されたら

- ・尋常ではない大雨が予測されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。



## 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

## 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上～
やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。

## 台風

日本には、毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらしています。台風の接近が予測される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

(平均風速:m/秒)

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
		非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	猛烈な	54m/秒以上

## 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は難しく、中小河川の氾濫、がけ崩れ、土石流などによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ◆ ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ◆ 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ◆ 非常時持ち出し品を準備しておく。
- ◆ 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。
- ◆ 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ◆ 浸水に備え、家財道具は高い場所へ移動する。

#### 記録的短時間大雨情報

県内で数年に一度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨を観測または解析したときに、府県気象情報の一種として発表されます。(発表基準:鹿児島県は120mm/1時間雨量)

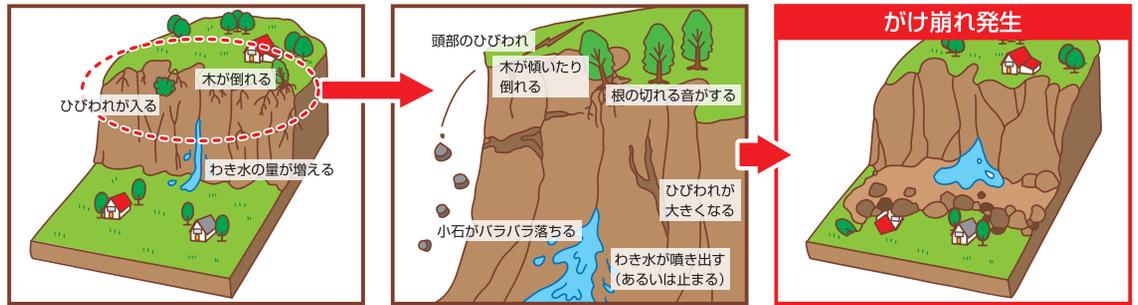


# 土砂災害

## 土砂災害の種類

### がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### 土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40 kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといえるものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

<b>土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)</b>	建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域	
<b>土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)</b>	土砂災害のおそれがある区域	

## 避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
- 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する。
- 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。





# 洪水・浸水害

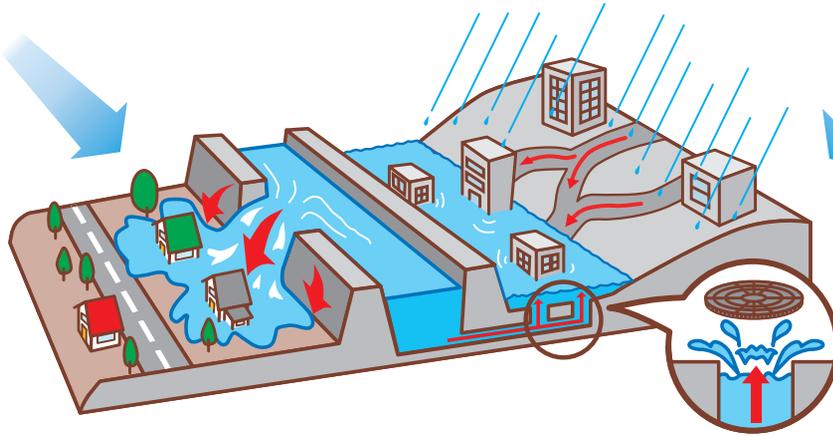
## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水

氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要



### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水

的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要

## 避難行動のポイント、危険な場所

### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険

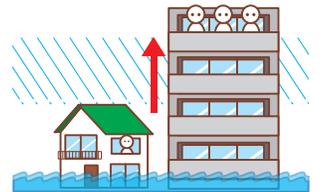
気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。

移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁

水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



### ！ 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子の確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中でも増水した川の近くを通るのは避ける。



### ！ 地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。



### ！ アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。



(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 河川の危険水位について

鹿児島県では、県内に設置してある雨量計、水位計の観測データをリアルタイムでご覧いただくことができるWEBサイトを公開しています。

鹿児島県河川砂防情報システム

<http://www3.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/bousai/jsp/index.jsp>



# 地震

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル



### ！とにかく自分の身を守ろう！

#### 地震だ！ まず身の安全

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



2~5分

### ！しっかり火の始末で、火災防止！

#### 大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。



5~10分

### ！わが家の安全確認、確保！

#### 火の始末のあと

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。



10分~半日

### ！隣近所の安否確認、助け合い！

#### 外に出たあと

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。



半日~3日

### ！2、3日は自分でしのぐ！

#### 避難後、数日間

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品（非常用品）を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

## 屋内にいた場合

### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。

### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



## 屋外にいた場合

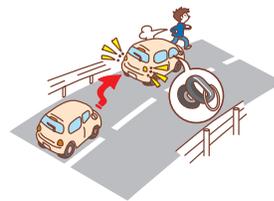
### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



### 車を運転中

- ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。



### 海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



# 津波

津波から命を守るためには、「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」、  
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」・・・**すぐに避難！！**

## 津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。

その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

## 津波警報・注意報の分類ととるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超(10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。  <b>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</b>	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m(5m<高さ≤10m)			
	5m(3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。河川にも近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船が転覆する。

## 避難時の心得

### 高い場所へ速やかに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。



### 河川や海岸には近づかない

地震の発生や、警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。



### なるべく徒歩で避難する

車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。

※避難対象者の年齢や健康状態によっては、安全を確保した上での車両による避難も考慮しましょう。

### 避難指示に従う

避難指示が発表されたらただちに指示に従い、安全で高い場所に速やかに避難しましょう。



### 正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。





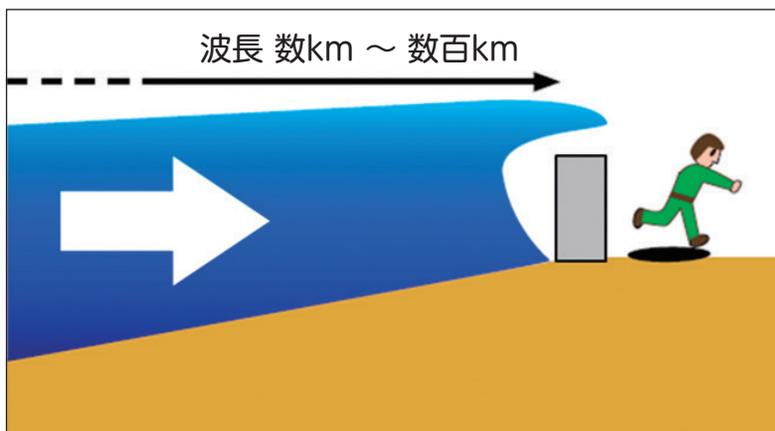
# 津波を知ろう

## 津波と波浪の違い

**津波**は、海底地形が急激に変形することで海面のもり上がりまたは沈み込みによる波紋が周囲に広がっていく現象で、海底から海面までの全ての海水が、**スピードのある巨大な水の塊**となって沿岸に押し寄せる現象です。このため、津波は勢いが衰えずに**連続して押し寄せ**、沿岸での津波の高さ（発表される高さ）**以上の標高まで駆け上がります（遡上高）**。しかも、浅い海岸付近にいくと**波の高さが急激に高くなる**特徴があります。

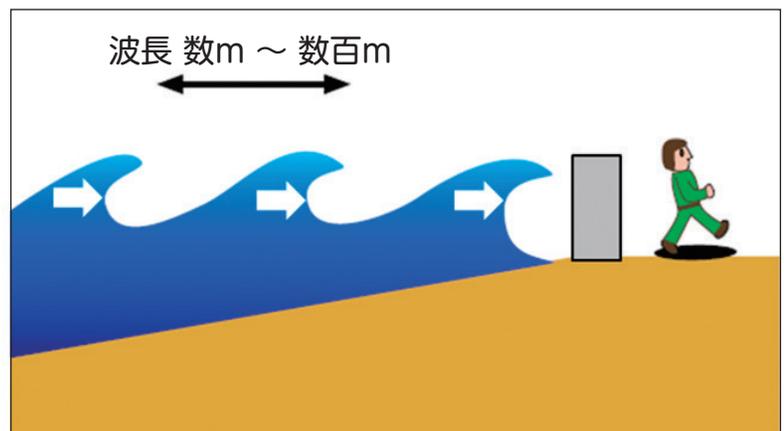
**波浪**は、海域で吹いている風によって生じる海面付近の現象です。

津波



巨大な水の壁となって長時間力が加わる津波は、陸上のものを破壊しながら内陸まで一気に浸水する。

波浪

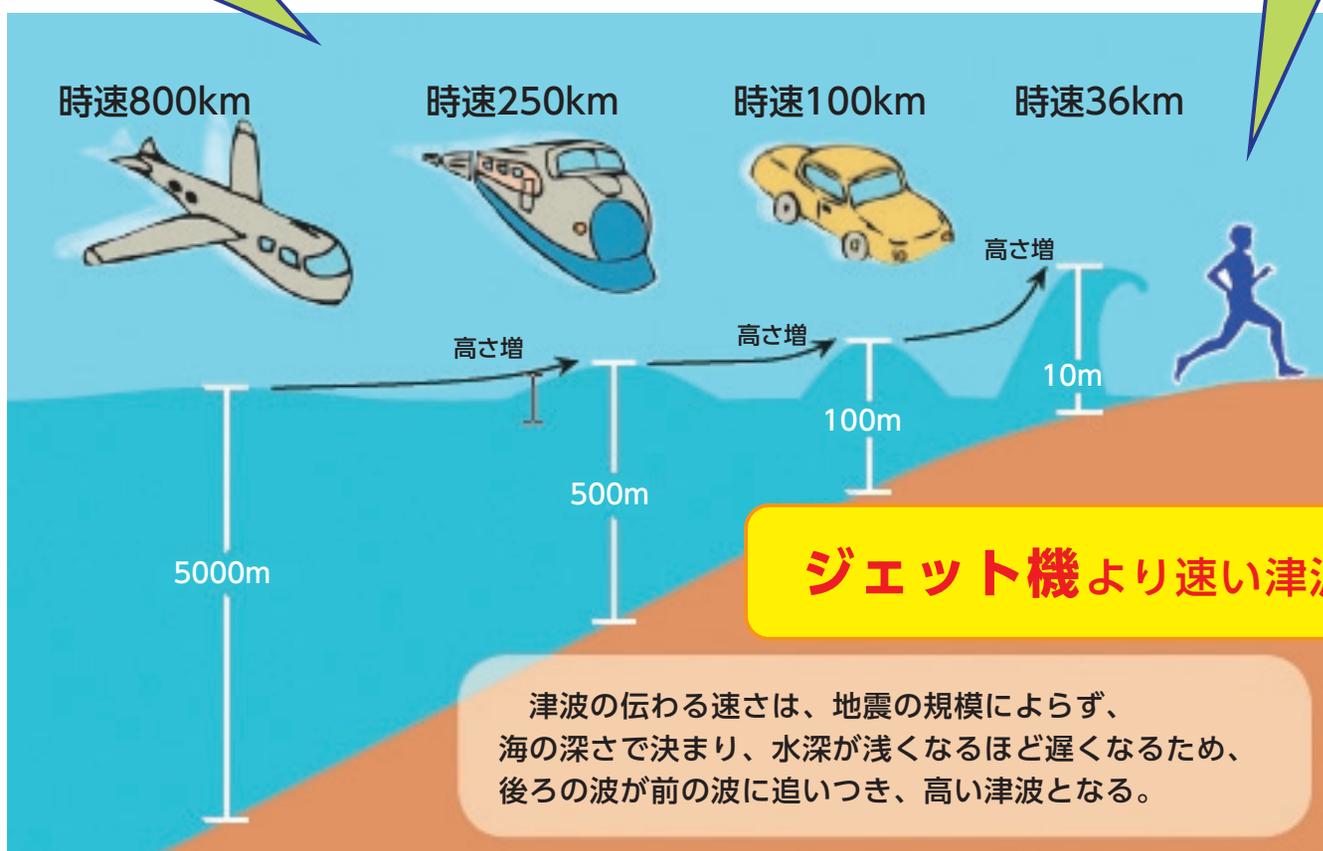


津波と高さが同じでも、波浪は波長が短いため一つの波により加わる力は小さく沿岸で砕け散る。

## 津波に伝わる速さ

津波は、海が深いほど速く、沖合ではジェット機なみの速さで伝わります。

沿岸部では、オリンピックの短距離選手なみの速さ（1秒に10メートル）です。人が走って逃げ切れるものではありません。



**ジェット機より速い津波の速さ**

津波の伝わる速さは、地震の規模によらず、海の深さで決まり、水深が浅くなるほど遅くなるため、後ろの波が前の波に追いつき、高い津波となる。



# 防災対策 & チェック

突然の災害に備えて、今、自分たちでできることを見回してみましょう。日頃から対策ができているか、チェックしましょう。

## ■ 家の中の安全対策

Check Point **家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる。**

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。

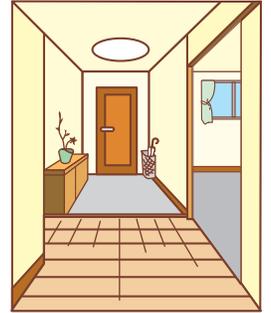
Check Point **家具の転倒を防ぐ。**

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



Check Point **安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない。**

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



Check Point **急な停電時の対応策を知っておく。**

ブレーカーの位置を知り、スマートフォンのライトや懐中電灯を活用できるように準備しておく。

Check Point **寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない。**

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



## ■ 家の周囲の安全対策

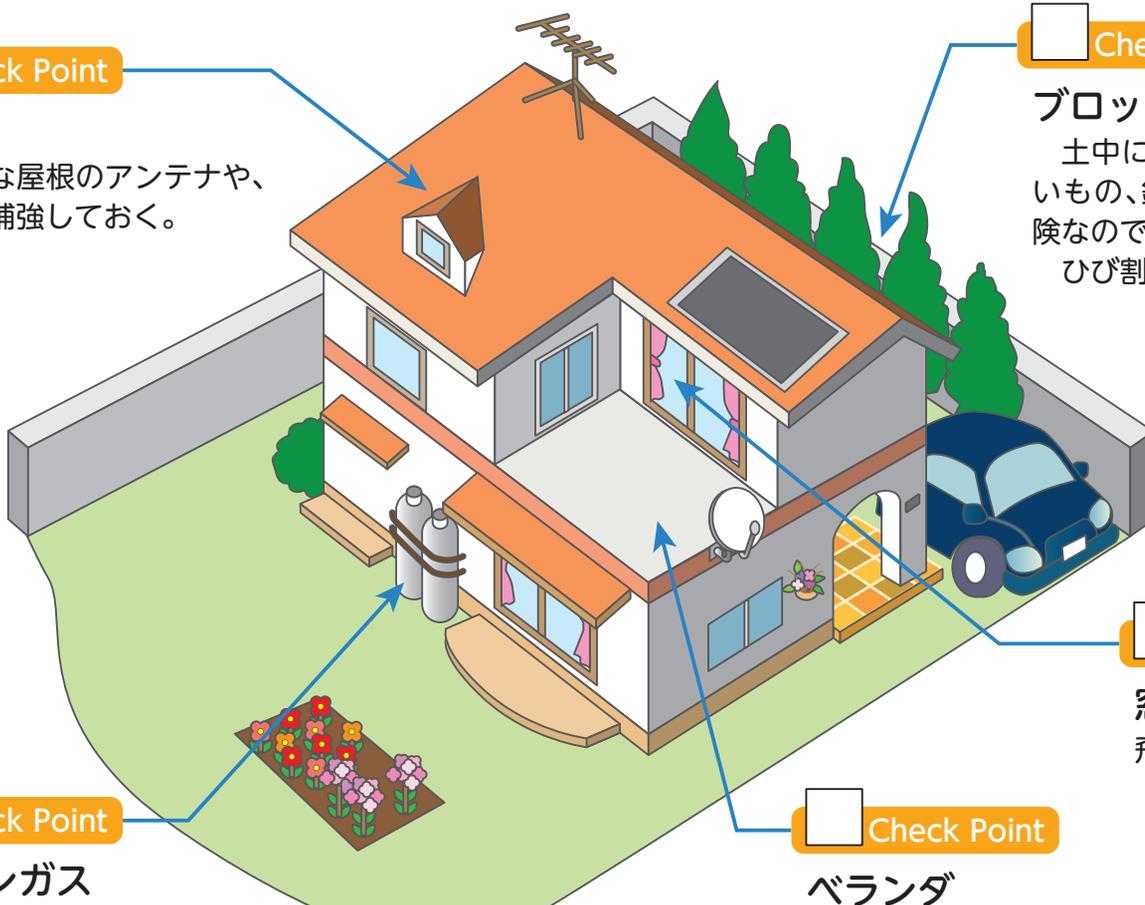
Check Point **屋根**  
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

Check Point **ブロック塀・門柱**  
土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。  
ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

Check Point **プロパンガス**  
ボンベを鎖で固定しておく。

Check Point **窓ガラス**  
飛散防止フィルムをはる。

Check Point **ベランダ**  
植木鉢などの整理整頓を。  
落ちる危険がある場所には何も置かない。







# 非常時持ち出し品の準備 & チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。  
日頃から準備できているか、 チェックしましょう。

## 非常時持ち出し品(例)

それぞれのご家庭の状況に応じて必要なものを記入するなどして、活用してください。

### 携帯ラジオ



<input type="checkbox"/> ラジオ
<input type="checkbox"/> 電池 (多めに用意)
<input type="checkbox"/>

### 救急医療品



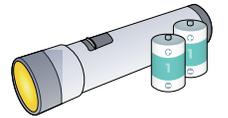
<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 傷薬
<input type="checkbox"/> 風邪薬	<input type="checkbox"/> 包帯
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤	<input type="checkbox"/> 絆創膏
<input type="checkbox"/> 胃腸薬	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ふだん飲んで いる薬 (処方薬)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### 貴重品



<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 免許証
<input type="checkbox"/> 預金通帳	<input type="checkbox"/> 健康保険証
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 権利証書
<input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

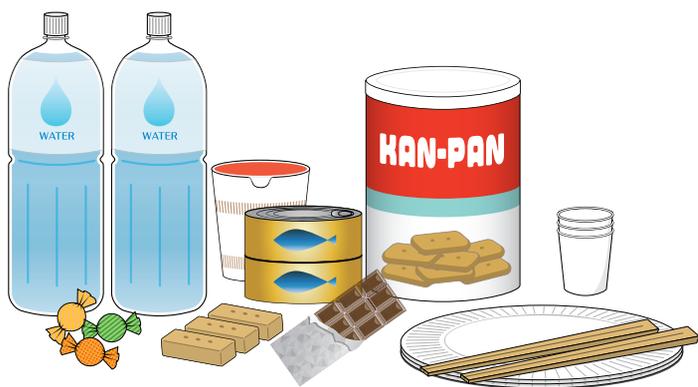
### 懐中電灯



<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (できれば 1人にひとつ)
<input type="checkbox"/> 電池 (多めに用意)
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

### 非常食品等

火を通さなくて食べられるもの、食器など



<input type="checkbox"/> 非常用食品	<input type="checkbox"/> 水筒	<input type="checkbox"/> 缶切り
<input type="checkbox"/> 缶詰	<input type="checkbox"/> 紙皿	<input type="checkbox"/> 栓抜き
<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター	<input type="checkbox"/> 紙コップ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> はしやスプーンなど	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### その他



<input type="checkbox"/> 衣類 (下着・上着など)	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> ヘルメット
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 粉ミルク	<input type="checkbox"/> ライター
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 離乳食	<input type="checkbox"/> メガネ
<input type="checkbox"/> カップ	<input type="checkbox"/> ラップフィルム (止血や食器に かぶせて使う)	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> 携帯電話	<input type="checkbox"/> 補聴器
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器	<input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## ■ 非常時持ち出し品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限、消費期限や持ち出し用品の不備が無いかを定期的に点検しましょう。



### 避難生活が長引くときに便利なもの

<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input type="checkbox"/> 裁縫セット	<input type="checkbox"/> 筆記用具(マジックなど)	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/> (布製)ガムテープ	<input type="checkbox"/> スコップ	<input type="checkbox"/> ポリタンク	<input type="checkbox"/> ビニールシート
<input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> 補助用具としてのロープ	<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡・補聴器	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

など

### 感染症対策

<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 除菌シート	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

など

## ■ 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を自活するための備蓄品

### 飲料水



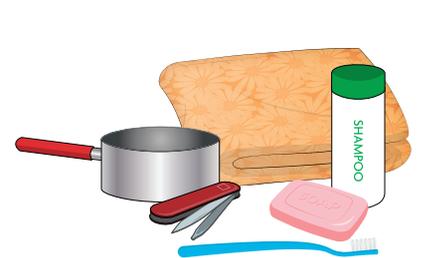
### 非常食品



### 燃料



### その他



<input type="checkbox"/> 飲料水としてペットボトルのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)	<input type="checkbox"/> お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ	<input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
<input type="checkbox"/> トイレ洗浄用の雑用水	<input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品	<input type="checkbox"/> ガスボンベ	<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など	<input type="checkbox"/> 固形燃料	<input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ドライフーズ・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア用品など
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> チョコレート・アメ(菓子類など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

非常時持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。

とくに食品や飲料水の賞味期限や消費期限はまめにチェックし、期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。



# 避難行動ガイド

！ 警戒レベル3高齢者等避難や警戒レベル4避難指示が出たら、危険な場所から避難しましょう。

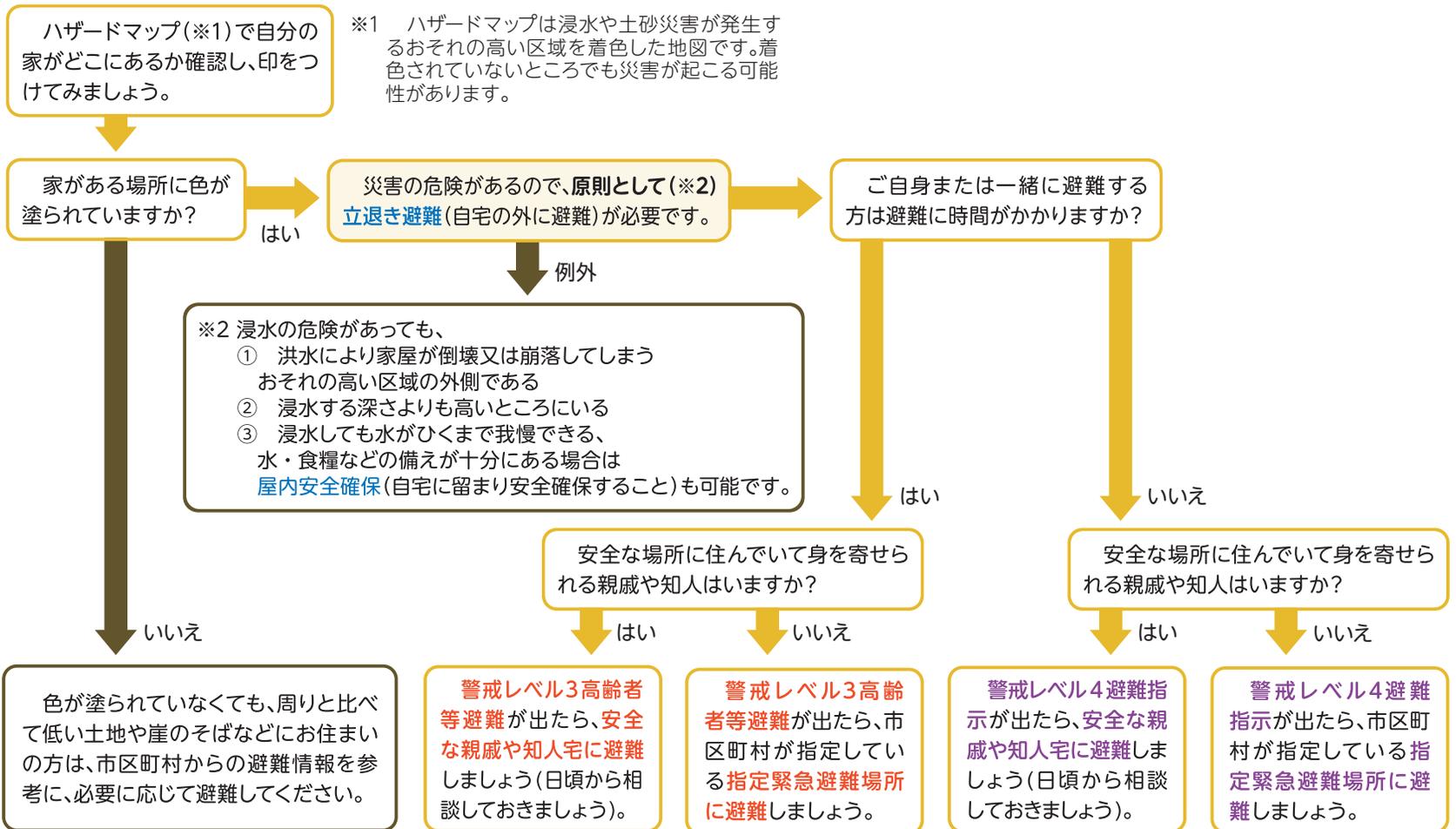
！ 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

！ 避難先は小中学校・公民館ではありません。  
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

## ◆避難行動判定フロー

普段から確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

●あなたがとるべき避難行動は？



## ■ 自宅の外へ避難する際の留意点

### ！ 避難するときの服装

- ヘルメット、帽子等をかぶる。
- 非常持ち出し袋はリュックサックに入れて背負う。(両手が使えるように)
- 長袖・長ズボンを着用する。
- 軍手や手袋をはめる。
- 靴は底の厚い、履き慣れたものを着用する。  
※洪水でも長靴は絶対に履かない。

### ！ 避難時のポイント

- 絶対に日没前に避難を完了させる。
- 道路が冠水する前に必ず避難する。
- 自宅を離れる前にもう一度火元を確認する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。
- 持ち出す荷物は最小限にする。
- 近所の人に声をかけ、複数人で行動する。
- 狭い道やブロック塀、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所を避けて移動する。
- 子ども、障がい者、高齢者、妊産婦など避難行動要支援者は早めに避難しましょう。

上記は一般的な避難留意点です。各災害に応じた留意点も、個別ページでご確認ください。

(ページ内の図表は内閣府ホームページより抜粋、編集)



# 避難所生活の心得

避難所では限られたスペースでの共同生活となりますので、マナーやルールを守ることが大切です。避難者同士のプライバシーを守りながら、譲り合いの心を持って助け合い、協力、配慮が必要です。

## ■ 共同生活の注意点

### 所持品

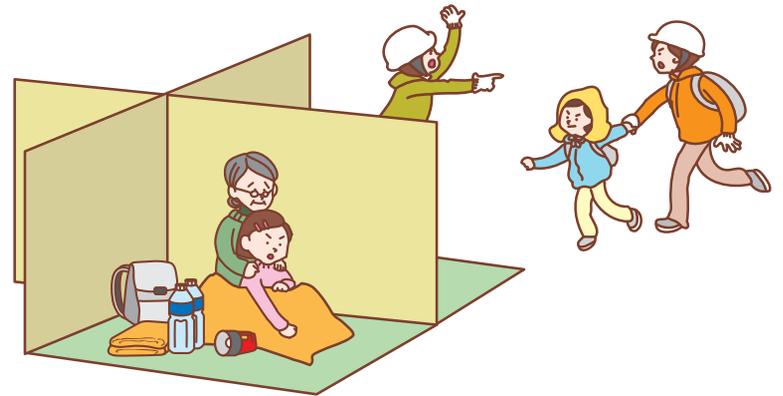
- ・ トラブル防止のため所持品に名前を書きましょう。
- ・ 所持品は、1箇所にとめて、すぐ持ち出せるようにしましょう。

### ルール

- ・ 大災害の際は、職員やボランティアが不足する場合があります。共同生活に必要な役割は、みんなで協力しましょう。
- ・ 水道が使えない場合は、飲み水や生活水の確保が必要なため大切に使いましょう。
- ・ 障がいのある人や高齢者、妊産婦などには、手助けをしましょう。
- ・ 居住スペースは、個人のプライバシーを守りましょう。
- ・ 避難所のトイレは多くの方が使用しますので、ルールを守り清潔に保ちましょう。
- ・ 不審者を見つけたら、警察や避難所の管理者、リーダーに連絡しましょう。
- ・ 避難所から別の場所へ移動するときは、必ず避難所にいる職員及び管理者等に一声かけてください。

### マナー

- ・ 物資が支給される場合は、列に並び、自分の順番を待ちましょう。
- ・ 掃除は定期的に行い、清潔な状態を保ちましょう。
- ・ 喫煙は、所定の場所で行いましょう。
- ・ ペット同伴の方は、飼い主が責任を持って世話をしましょう。
- ・ ペットは全ての避難所に同伴できるとは限りません。
- ・ ペットを避難者の居住スペースへ同伴することはできません。ただし、盲導犬等、介助犬法に定められた指定を受けているものを除きます。



### 感染症

- ・ 集団生活のため、風邪やインフルエンザ、食中毒などの感染症が流行しやすくなります。予防対策として、こまめにうがいや手洗いを行い、できるだけマスクを付けましょう。



### 食中毒

- ・ 食中毒は1年中発生します。石鹸で十分に手を洗いましょう。
- ・ 食器、調理器具は、使用后や作業が変わるたびに洗浄と消毒を行いましょう。

### 体調管理

#### 【エコノミークラス症候群】

予防対策として、体を動かしましょう。座ったままでも足や足の指先を動かすなど足の運動を行い、十分な水分をとりましょう。

#### 【熱中症】

予防対策として、水分をこまめにとり、塩分もほどよくとりましょう。涼しい服装に心がけ、室内でも温度に注意しましょう。



# 指定避難所・指定緊急避難場所一覧

## 指定避難所

災害等の連絡は

錦江町役場(総務課) **0994-22-0511** (代表)

No.	施設・場所名	住 所	No.	施設・場所名	住 所
1	大根占小学校体育館	錦江町馬場20番地	8	宿利原地域コミュニティセンター	錦江町神川7258番地1
2	錦江中学校体育館	錦江町城元940番地	9	宿利原地区体育館	錦江町神川7258番地
3	錦江町総合交流センター	錦江町城元963番地	10	田代保健福祉センター	錦江町田代麓778番地1
4	神川小学校体育館	錦江町神川3295番地	11	錦江町田代開発センター	錦江町田代麓778番地1
5	神川地区体育館	錦江町神川3306番地4	12	花瀬でんしろう館	錦江町田代川原4263番地3
6	池田小学校体育館	錦江町城元5324番地	13	大原小学校体育館	錦江町田代麓4818番地
7	池田地区体育館	錦江町城元5502番地			

## 指定緊急避難場所

No.	施設・場所名	住 所	対応災害種別
1	大根占小学校	錦江町馬場20番地	
2	錦江町松崎街区公園	錦江町馬場1179番地	
3	錦江町大橋街区公園	錦江町馬場132番地26	
4	錦江中学校	錦江町城元940番地	
5	錦江町総合交流センター	錦江町城元963番地	
6	錦江町堂之元街区公園	錦江町城元858番地1	
7	鳥浜公民館	錦江町神川712番地	
8	神川小学校	錦江町神川3295番地	
9	神川地区運動場	錦江町神川3306番地4	
10	池田小学校	錦江町城元5324番地	
11	池田地区運動場	錦江町城元5502番地	
12	宿利原小学校	錦江町神川7260番地	
13	宿利原地区運動場	錦江町神川7258番地	
14	田代保健福祉センター	錦江町田代麓778番地1	
15	田代小学校	錦江町田代麓586番地1	
16	田代中学校	錦江町田代麓5624番地	
17	川原地区運動場	錦江町田代川原373番地	
18	花瀬でんしろう館	錦江町田代川原4263番地3	
19	大原小学校	錦江町田代麓4818番地	
20	大原地区運動場	錦江町田代麓4567番地8	
21	新田地区運動場	錦江町田代麓5078番地	

### 対応災害種別凡例

洪水／内水氾濫	崖崩れ・地滑り	土石流	津波／高潮	地震	大規模な火事	火山現象

# 防災に関する知識

## 緊急時の連絡先

警察は **110** 番

消防・救急は **119** 番

災害等の連絡は **錦江町役場(総務課) 0994-22-0511 (代表)**

### 行政関係

気象に関することは	電話番号
鹿児島地方気象台	099-250-9911
国道、県道、県河川に関することは	電話番号
大隅地域振興局 建設総務課	0994-52-2173

### 警察・消防

名称	電話番号
錦江警察署	0994-22-0110
大隅肝属地区消防組合	0994-43-0119
南部消防署	0994-22-1199

### その他公共的団体

名称	電話番号
錦江町社会福祉協議会	0994-22-2000

### ライフライン

電話の故障に関することは	電話番号
NTT西日本	0120-444-113
電気のことは	電話番号
九州電力送配電(株) 鹿屋配電事業所	0800-777-9451
上水道のことは	電話番号
錦江町役場建設課住宅水道チーム	0994-22-3033
下水道(農業集落排水)のことは	電話番号
錦江町役場田代支所産業建設課 経済建設チーム	0994-25-2511
ガスのことは	電話番号
(一社)鹿児島県LPガス協会	099-250-2535
ゴミのことは	電話番号
錦江町役場住民税務課住民チーム	0994-22-3039

## 連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

一般社団法人電気通信事業者協会 <<災害時の電話の利用方法>>	<a href="https://www.tca.or.jp/information/disaster.html">https://www.tca.or.jp/information/disaster.html</a>
NTT西日本 <<災害用伝言ダイヤル171>>	<a href="https://www.ntt-west.co.jp/dengon/">https://www.ntt-west.co.jp/dengon/</a>
災害用伝言ダイヤル171の利用方法・・・「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。	
NTT西日本 <<災害用伝言板(web171)>>	<a href="https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/">https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/</a>
NTTドコモ <<災害用伝言板>>	<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/index.html">https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/index.html</a>
au <<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/">https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/</a>
SoftBank <<災害用伝言板>>	<a href="https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/">https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/</a>
楽天モバイル <<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/disaster_board/">https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/disaster_board/</a>
ワイモバイル <<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://www.ymobile.jp/service/dengon/">https://www.ymobile.jp/service/dengon/</a>

## 緊急速報メール及びエリアメール

**「緊急速報メール及びエリアメール」により、緊急情報を配信します。**

災害発生時や避難等が必要となった場合に、気象庁や県、町が配信元となり、該当地域にいらっしゃる方に対して、避難情報や国民保護などに関する情報をメールでお届けします。

- 配信する情報は、避難指示など、緊急かつ重要な情報です。
- 携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

**もしもの災害に備えて、家族の連絡先、避難所を記入しておきましょう。**

### 家族の連絡先

名前	連絡先

### 避難所

施設名	連絡先